

アメリカでの留学生活

国際学部 2年 東 あかり

私たちは2015年8月26日から約4ヶ月間アメリカ合衆国のミズーリ州にある、ノースウェストミズーリ州立大学へ留学しました。この大学ではESL (English as a Second Language) というプログラムがあり、そこで様々な国の留学生が英語を学び、私たちも同じくそこで英語を学びました。ESLには私たちの他に、中国人や韓国人、サウジアラビア人がおり、一緒に授業を受けました。それぞれの国の英語の独特な発音や喋り方など、コミュニケーションを取ることが始めは難しかったのですが、話していくうちにだんだんと理解し合えるようになり、一緒にプレゼンテーションをしたり、イベントに参加するなどたくさんの経験ができました。

私は、はじめは留学に行く予定ではありませんでした。興味はあったのですが、知らない土地で4ヶ月間も生活することに自信がありませんでした。また英語が得意なわけではなかったのできつと行かないだろうと思っていました。しかし、留学に行った先輩や両親のすすめでやるだけやってみようと思心しました。

アメリカへ到着し、授業が始まるまで少し期間があったのですが、これから始まる新学期にむけて楽しいイベントが盛りだくさんで、なんと前日には花火まで上がり、不安だった思いはいつの間にかなくなっていました。留学に行って学ぶことに対する意欲や人とのつながりの大切さを学び、本当に行けてよかったと思っています。

Dorm

私たち国際情報の生徒は全員で21人いましたが、私を含めた8人だけ別の寮に入りました。私たちの入った寮はFranken Hallという学校で一番古い寮です。私たちの寮生活はアメリカに到着し、初めて寮に着いたときたった8人で取り残され、先生とも連絡が取れず、さらに寝具がなぜか無くて寝ることができないというハプニングから始まりました。慌てて寮のリーダーに聞きに行きましたが、初日で英語にも慣れておらずうまく伝えることができませんでした。寮の人はそれを分かってくれて、一緒に夜中に先生を探しにいろいろな寮に走ってくれたり、ほんとうに面倒をかけたのに親切にしてくれました。Frankenの人たちはみんな親切で驚くほどフレンドリーな人たちが大勢いました。廊下に横になっておかしを食べている人や私の部屋にポップコーンを持って遊びにきてくれる同じフロアの人もありました。寮内でマリオカートの大会があったり、お菓子を食べながら話すイベントもあったりしてすごくいい寮でした。初めて寮に入ったときは古くてなんだか怖かったし、いろいろと愚痴ってしまいましたが、最終的に居心地がよく、大好きな場所になっていました。

* Classes *

Reading/Writing, Listening/Speaking, Grammar, Culture, TOEIC の授業があり、1日に2科目の授業が2時間ずつありました。Reading/Writing では移民についての話やアメリカの国会についての話、銃の話など様々なトピックがありとても楽しい授業でした。Listening/Speaking では地球の作りや環境問題などについて学び、スピーチやプレゼンテーションを行いました。グループプレゼンテーションでは英語で話し合いをし、それぞれの役割や内容を決めるのに苦労しましたが終わった後の達成感はとても心地の良いものでした。Grammar では基礎的なことはもちろん、応用的なことやより自然に使われる文法などを学びました。Culture ではアメリカの文化や面積、またミズーリ州立大学のある町である Maryville のことなども学びました。TOEIC の授業では TOEIC の問題の効率のよい解き方やポイントなどを教わりました。帰国の何日か前に本番の TOEIC を受けたのですが、授業で教わった事が役に立ちスムーズに問題を解くことができたと思うので役立つ授業だったと思います。それぞれの授業は毎回課題が出たり、毎週のようにテストがあったりして学習はとても大変でしたが日本にいるよりも学習する量が増え、とても充実していました。

* Conversation Partner *

授業とは別に、カンバセーションという時間があり、パートナーのアメリカ人と週に2回1時間ずつカンバセーションをしました。私は Mallory という1歳年上の女の子がパートナーで、毎回話題は特に決めず、その日にあったことや勉強のこと、お互いの文化や家族のことなど本当に多くの話をしました。カンバセーションといっても話すだけでなく、話題が出尽くしてきたらトランプやボードゲームをしたり、Mallory が飼っている猫と遊んだり、充実した時間を過ごしました。Easter というお祭りが大体3月ごろにあるのですが3月には私たちは帰国していることになっていたため Mallory が一緒に Easter Egg を作る時間を作ってくれたのですごく貴重な経験ができました。Easter Egg はペイントしたり食紅で染めたかわいい卵です。とても楽しかったです！Mallory は軍隊に所属していてその話をする時はとてもたくましいけれど、家族や恋人の話をしている時の彼女はとてもかわいらしく、話をするのが毎回楽しかったです。

* Activities *

ノースウェストミズーリ州立大学には毎日のように bingo や free dinner などのアクティビティー



がありました。ESL の課題として 1 週間に 1 回必ず何かのアクティビティーに参加してレポートを書くというものがいましたが、イベントが多すぎて何に行こうか、何を書こうか毎週悩むほどでした。私は友達と多くのイベントに参加しました。

一番印象に残っているイベントは **Scavenger Hunt** というもので 1 から 10 までの学校の敷地内に隠されているカードを順番に見つけ、そこに書いてある次のカードがある場所に関するヒントを解きながら進んでいくというゲームです。このイベントは夜の 9 時から開催され、暗い中外を走り回ってカードを探しに行きました。学校は敷地が広く、把握できていない施設も多かったので私たちのチームはゴールできないままリタイアしました。12 時近くまでかかったのが疲れましたが、さすがアメリカというようにおもしろいイベントでした。また、ハロウィンにはダウンタウンで子どもたちが仮装したり、パレードがあって本当にすごかったです。学校には夜に真っ黒のマントの人が追いかけてきたり、小さな子がおどかしてきたのでずっとドキドキしていました。また大きなかぼちゃをくりぬいてジャックランタンを作ったのも思い出です。ESL でもハロウィンパーティーがあり、みんな仮装してゲームをしたり、とても盛り上がりました。



* Thanksgiving *

アメリカには **Thanksgiving day** という祝日があります。私が留学生活の中で一番思い出深いのはこの祝日でした。この期間は離れている家族や親せきが集まり、食事をしたり思い出話に花を咲かせたりし、日本のお正月に少し似ています。この期間は大学も寮も閉められるので、私たちはホームステイをしました。私たちは **Davis Family** の家にお世話になりました。お父さん、お母さんと 3 人の子どもたち、そして愛犬というにぎやかな家で、愛情たっぷりの家族でした。**Thanksgiving** の間は家でまったり過ごしたり、日本料理を食べると欲しいと思い、うどんを作ったり、親戚の家と一緒に行っておいしいご飯を食べたりしました。親戚の人たちも本当に優しくていい人ばかりでとても幸せな時間でした。また、**thanksgiving** 当日にはインドやネパール、サウジアラビアの留学生も交えてパーティーを開き、すごく楽しかったです。**Davis Family** は **Thanksgiving** の間だけでなく、いつも私たちを気にかけてくれて、いろいろな所に連れて行ってくれました。帰国前日にはお別れだからとおいしい夕食に招いてくれ、そのうえ私たちのわがまを聞いてくれ、夜遅くに **Mozingo Lake** という湖に星を見に連れて行ってくれました。そ

こは満点の星空で流れ星をたくさん見ました。「私たちは離れていても同じ星をみれるのよ」と素敵な言葉をもらい、本当に素敵な家族と出会えてよかったと思いました。



* Friends *

アメリカには日本と違って、身近に様々な国の人がいました。韓国、中国、サウジアラビア、ネパールインドなどの国の人と友達になることができました。出会いは突然で、図書館や食堂でなんとなく話しかけてきてくれて人と仲良くなったり、その友達と挨拶を交わすようになったりといろいろでした。出かけた時に車で送ってくれたり、一緒に映画を見たり、宿題を教えてくれたりみんなとてもよくしてくれました。お互いの国の文化や言葉を教え合い、学ぶこともたくさんありました。日本に帰ってからも連絡してくれる人たちがいて、これからもずっと仲良くしていきたい友達に出会えて嬉しかったです。

* Conclusion *

アメリカ留学は私にとって本当にいい経験で大切な思い出になりました。本当に楽しすぎて帰国することが信じられなく、帰り



の荷造りは帰る間にやっとのことで終わらせました。4ヶ月はあっという間で、もっと授業で発言すればよかった、もっとこうすればよかった！という気持ちがどんどんわいてきて、帰ることを毎日友達といやだいやだと言っていました。ESLの先生である Mrs.K はいつも明るく、楽しい先生でした。また、授業のことだけでなく、たくさんサポートしてくれました。Mrs.Hardee はとても優しく、丁寧な授業で細かく教えてくれたり、イベントに連れて行ってくれました。Dr.Foot は人を笑わせるのが上手でよく面白いことを言ってくれました。授業では日本語で喋っていいよといって理解を深めさせてくれたりしました。

私は一生懸命勉強をすることがあまり得意ではありませんでした。しかしアメリカに行って時間を無駄にしたくない、と思うようになりました。放課後はそれぞれの授業で出される宿題に追われましたが、その分身についていくという事が授業の中や日常生活のなかでだんだんと実感でき、学ぶということが楽しくなりました。宿題が終わった後は友達とイベントに行ったりハングアウトしたり、毎日が本当に充実していました。

もし、留学に行こうか迷っている人がいたら、私は絶対に行った方がいいと思います。辛い時もあるかもしれませんが、その分得る物は大きかったと思いますし、成長できたのではないかと思います。わたしはこの留学の経験や学んだことを生かしていきたいと思います。